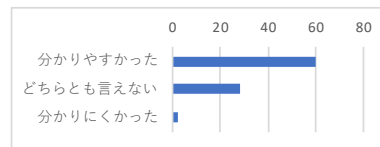
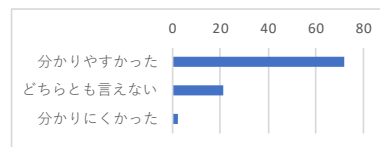
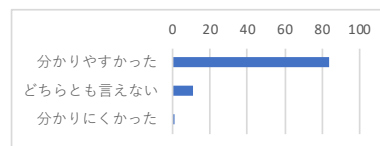
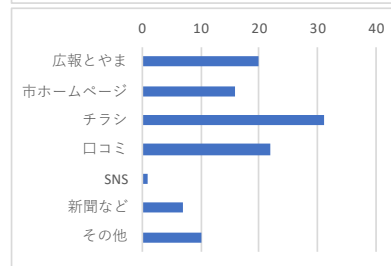
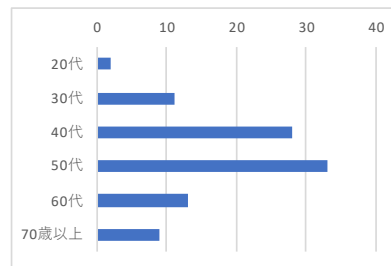
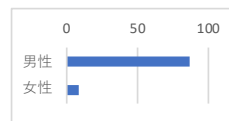


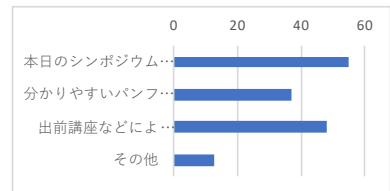
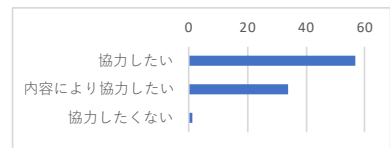
■社会インフラマネジメントシンポジウム（2023.2.18開催） アンケート集計

2023.2.21

回答数		97
問1 性別		
	男性	87
	女性	8
	小計	95
問2 年代		
	20代	2
	30代	11
	40代	28
	50代	33
	60代	13
	70歳以上	9
	小計	96
問3 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？ ※複数回答可		
	広報とやま	20
	市ホームページ	16
	チラシ	31
	口コミ	22
	SNS	1
	新聞など	7
	その他	10
	・チラシは県民会館	
	・富山市	
	・SNSとありますが、どこに掲載していたのですか？	
	・建設政策課	
	・市役所～案内	
	・市長、自治振興会	
	・市連	
	・植野様よりご紹介	
	・職場で	
	・協会案内	
	小計	107
問4 本日のシンポジウムは分かりやすかったですか？		
(1) 基調講演		
	分かりやすかった	84
	どちらとも言えない	11
	分かりにくかった	1
	小計	96
(2) 市の取組み発表		
	分かりやすかった	72
	どちらとも言えない	21
	分かりにくかった	2
	小計	95
(3) パネルディスカッション		
	分かりやすかった	60
	どちらとも言えない	28
	分かりにくかった	2
	小計	90
問5 社会インフラの現状について、ご存知でしたか？		
	知っていた	84
	本日、はじめて知った	11
	小計	95



問6 市では、社会インフラの現状を適切に管理し続けるため、市民等の皆様と協力して取り組んでいきたいと考えていますが、どう思われますか？	
協力したい	57
内容により協力したい	34
協力したくない	1
小計	92
問7 市では、社会インフラの現状などについて、市民等の皆様へさらに知っていただきたいと考えておりますが、どのような方法が効果的であると思われるか？ ※複数回答可	
本日のシンポジウムの内容などをホームページへ掲載する。	55
分かりやすいパンフレット等を配布する。	37
出前講座などにより、市の取組みを発表する。	48
その他 ・具体的に実際の老朽化したインフラを見学してもらう。 ・現場見学会を開く ・地元新聞、テレビ等のメディアを利用 ・HP掲載した上で、予算を捻出するための税収源を考え政策を起こす。 ・現状の案内だけではなく方針（たたき台）を元に議論する場を設ける ・広報にのせる ・市政情報番組などで放送 ・新聞のコラムやテレビ・ラジオでの定期的な発信 ・テレビで放送する ・ケーブルTVに出演し、説明する ・具体的な数字、論議など広く共有できるものが必要 ・本日のシンポジウムのポイントはWEB公開を希望 ・出前講座などに～（以下略）：あまりよく知られておらずテーマが主催者が決めすぎ。以前、県・市・市町村でタウンミーティングというもっと幅広いテーマで参加者の質問も受けてもらえるものがあったように思う。	13
小計	153



本日のシンポジウムのご感想や社会インフラに関するご意見など、ご自由に記入ください。
(別紙)

本日のシンポジウムのご感想や社会インフラに関するご意見など、ご自由に記入ください。

- 富山市自治振興連絡協議会の各地域毎にシンポジウムを順次開催していただきたい。10～20年後を考えた時に如何に有るべきか地域住民に理解していただく上では必要と思います。
- 学校等で授業で行う
- わかりやすい説明で、とても勉強になりました。今後ますます進むと予測されている少子化に対応するためにも省インフラの考えを普及させる必要があると思いました。
- 自治体のみ単年度予算で補修工事、点検、設計を個別に発注していて、とても労務化に間に合うとは思えない。建設業でコンサルをまとめてエリアごとに複数年契約で維持管理事業として発注し経費をおさえていくことが望ましいと思いました。
- 立場を越えて協力していくために、市民への意識づけを能動的に付与していく必要がある。優先順位づけを個別に実施する前に市としての総合的なまちづくりプランを策定、拠点設定を明確にし、これに順応して公共施設→土木インフラの整備優先度を定めていく必要があると考えました。専門すぎでついて行けない方々への周知が重要。
- 地域を活用する（民間）手段を提示してほしい。包括委託なども含め偏小も必要だが適切な置き換え更新などの予算と獲得することなども考えのひとつとして積極的に発信してほしい。
- 3000件/年 かんぼつ事故 人口1万人以上の拠点をつくる 生き残るため なんとか生き残れる
- インフラの集約化に致し方ないと思うが、最低限、地区センター機能を持った施設は残してほしい。
- 基調講演は分かりやすかったが、しかし、内容が良いか悪いかは別！！
- 式次第がないのが残念！
- パネルディスカッションの松本先生の話は、分かりやすかった。
- 私は女性ですので難しいお話は分かりかねます。が、しかし、根本先生や藤井市長他の皆様方の話される事を聞き、非常に勉強になりました。このシンポジウムを開く事に意義がありました。これからも、いろいろな意味で学んでいきたいと考えます。本日はありがとうございます。
- 社会インフラの課題に優先度を付けると、どうしても人口の多い市街地が最優先となり中山間地域が後回しになると思われ、さらに人口流出が続くと思われる。大雨等の土砂災害が発生した場合は速やかに現調してほしい。
- 50年先を考えて公共施設を計画する大切さがよくわかった。50年後の人口を考えて、適所に投資してもらいたい。
- 人口増加に伴うインフラ整備が少子高齢化に伴い、急激な老朽化がきている中で、生活水準を落とさないように市民も理解していかなければならない。
- 高度成長期に投資が集中したため老朽化施設も集中している。本当に全施設の早急な更改が必要なのか。不要な施設、撤去できる施設があるのでは。地域住民からの要望も聞き、プライオリティを付けて適切なマネジメントをお願いする。
- 本日は市民ではありませんが参加しました。
- 今後のインフラに対する維持、管理、修繕の重要性について改めて認識できた。また、同時にどう取捨選択、統合などしていくのかの課題に向き合っていく時期にきており、それを多くの人が認識しているが中々進まず、インフラの老朽化も進んでいき、時間があまり残されていないことがよくわかった。
- コンサルタントとしては、老朽化したものと技術的に解決することはできる。トリアージ等の対策は、行政がきちんとやっていただきたい。
- 急速に進行する社会インフラの老朽化を前にもっと積極的に先進的な民間企業が有する技術やサービスの活用、管理の一部委託も含めて取り組んでいく必要があるように感じた。
- 何故社会インフラへの予算が確保できないのか理由をもっと詳しく説明する必要がある。市長の考えが知ることができて良かった。

- 根本先生のお話は大変よく理解することができた。
- 分かりやすい話ではあったが、しょせん日本政府の財政が破綻寸前であるとの前提でなされた研究でしかない。日本政府は財政破綻しない。富山市に金がなければ国が出せばよい。日本政府が財政破綻しないことは財務省のHPで説明されている「外国格付け会社宛意見書要旨」で検索してもらいたい。これでは土建屋のいない日本を将来世代に渡すことになる。
- 富山市の地域特性上、インフラの老朽化は大きな課題となると思うが責任すべきことも大きいだろうし、きちんとお金で人員をかけてやっていただきたい。
- 人口減少が進む中、しっかりと将来を見据えたインフラの取捨選択をしてほしい。
- 根本先生の話は、とてもわかりやすく納得できる内容でした。省インフラは省エネと同じ観念だと理解できた。富山市は世界最先端の取組みです。地区センターの機能が整っている。住民との話し合いの場は必要である。各パネラーの方々のご意見が貴重でした。ありがとうございました。
- 社会インフラを考えるきっかけになった。トリアージ結果を防災マップのように全戸配布してはどうか。まずは認知してもらうことが大事で、総論として理解してもらった上で、各論としての議論を進めるべきだと思う。根本先生の発言にあったルール作りと、それを守ることが大事ではないか。
- 水道、下水道の年間事故の多さに驚いた。少子高齢化、財政難といえ、ライフラインをきちんと直して行って下さい。
- 「省インフラ」という考えを浸透させていくことが必要。「省エネ」があたり前の言葉として使われ理解されているように、省インフラの考えもあたり前に市民に利用してもらえるようにしていくべき。
- 社会インフラの住民への理解が困難であり、今後の取組みをどうしていくか、住民と積極的に教えていきたい。
- 基調講演は分かりやすかったが、一部、不明点あり。問6について「協力しなければならない」→sustainableの本来の意味。本日のシンポジウムは問題ありませんが、過去の出前講座について、講師・説明者の質向上を希望→講師の自己満足と思われるような話法。中には他人事のように聞こえる場合も時々あります。他人事とは「ここは県・国で市としては…」のような発言（回答）
- ①街路樹の管理…県道、岩瀬小、ライトレール近く約400mのケヤキ並木。落ちた枝、葉の始末が全くされていない。根のゴミも危険。車道と歩道間の溝の泥も黄色のタワシ車が避けていく。一方、越中富山駅近くのサルスベリの並木、夏、赤白の花がきれいだった。②富山地鉄の鉄道線の駅舎の廃墟ぶりが見苦しい。県外からの観光客は各駅停車だけになったせいかよく見ているし、地元の人々の評判も悪い。ホームの柵はさび切れ、駅舎はくちはてているものもある。安全基準もないのかとても恥ずかしい富山県の風景である。③電鉄富山駅や駅前CiCのチラシ置き場に心遣いが感じられず空だったりしている。沿線の市町村が工夫されたチラシを作っておられるのに、無神経さにあきれられるほどだ。④富山市役所各部署のチラシがあまり楽しくない。金沢はいろんなものが出て工夫や次々と新しいものが楽しい。
- 富山市の取組みについては、現状の説明は理解できたが、今後の取組みについて具体的な説明が必要と感じた。例えば、修繕必要な橋りょうは600橋あるが、まだ350橋程度しか進んでいない。残り240橋はどうするのか？橋のトリアージ、優先順位だけで対応できるのか？他の施策はないのか？
- 基調講演及びパネルディスカッションのまとめのメッセージも感動しました。パネルディスカッションの司会の植野参事のまわしがすばらしく、とてもテンポがよく、できれば植野さんのお話もう少し聞きたかったです。自治振興会の役員の方々の参加があったので、地元での説明会の開催を引き続き期待します。大学や高校の工業系、理系の学生の参加の機会があればいいかもしれません。数十年前から確実にわかっている少子化と同じでインフラも確実に到来するのに実感がない。平和ボケでしょうか？大災害が長くないための安心からでしょうか？司会の高木さんは明るくはっきり聞きやすく素晴らしかったです。

社会インフラマネジメントシンポジウム

来場者アンケート

本日は、ご来場いただきありがとうございました。
本日のシンポジウムについて、アンケート調査へのご協力をお願いします。
アンケート用紙は、会場出口にて回収いたします。
該当する番号を選択し、○を付けてください。

問1 性別

- 1 男性 2 女性

問2 年代

- 1 19歳以下 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70歳以上

問3 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？

※複数回答可

- 1 広報とやま 2 市ホームページ 3 チラシ 4 口コミ
5 SNS 6 新聞など 7 その他（ ）

問4 本日のシンポジウムは分かりやすかったですか？

(1) 基調講演

- 1 分かりやすかった 2 どちらとも言えない 3 分かりにくかった

(2) 市の取組み発表

- 1 分かりやすかった 2 どちらとも言えない 3 分かりにくかった

(3) パネルディスカッション

- 1 分かりやすかった 2 どちらとも言えない 3 分かりにくかった

↓裏面へ

